

### Xiaomi AIスマートゴーグル発売

6月26日、Xiaomiは最新のAIスマートグラスを発売し、雷軍は“次世代の個人向けスマートデバイス、AIの入口を持ち歩くもの”と定義された。

この40グラムのスマートグラスのバッテリー駆動時間は8.6時間で、45分で急速充電できる。1200万画素の手ぶれ防止カメラを搭載し、一人称視点撮影と音声制御をサポートし、スポーツ、親子等のシーンに適し、14の主流プラットフォームのビデオ通話と生配信機能に対応する。



Xiaomiのスマートグラス戦略の本質は、携帯電話を利用してハードウェアコストの削減、成熟したサプライチェーン技術（クアルコム/ノニー案）による基盤機能の迅速な着地、AR専門機器との直接競争を回避することである。コア目標は携帯電話ユーザーのスティックネスを強化すると同時に、これは将来のARシーンにおけるシェア取りの為の低リスクのテストである。

### XGIMIがRS 20シリーズプロジェクターを発売

5月8日、XGIMIはRS 20 Plus、RS 20 Pro Max、RS 20 Ultra、RS 20 Ultra Maxの4種類の新製品を含むRS 20シリーズのプロジェクターを正式に発売した。

XGIMI RS 20シリーズは「ゲームの巨大スクリーン」をコアのセールスポイントとし、技術パラメータが際立っている：シリーズ製品全てにVRR可変リフレッシュレートを標準装備し、4 K 60 Hzと1080 P 240 Hzのダブル出力モードに対応し、1 ms超低レイテンシーに対応、プロジェクション設備のゲーム体験の実行可能性を著しく向上させた。



大画面テレビは明るさ、細部、色の優位性で市場での主流を占めており、従来の投影装置は厳しい課題に直面している。業界は新しい使用シーンの開拓を急ぐ必要があり、ゲームでの利用はその設備性能に対する特殊な要求のため、投影技術の突破の鍵となっている。

### MideaはDeepSeekのスマートエアコンを発表

今年初め、中国のAIビッグモデルDeepSeekが世界的なブームを巻き起こし、Mideaの3月に発売された清浄感空気機T 6が「DeepSeek+」が応用された典型的な家電の代表となった。Mideaの空気清浄器機T 6はDeepSeekを搭載し、従来のエアコンの限界を突破し、能動的に環境を感知する「空気コンシェルジェ」、にアップグレードし、多目的なインタラクション、ファジィな指令、スマート対話をサポートし、空気管理と生活サービスを提供する。



AI技術の駆動の下で、中国の家電業界はグレードアップを加速している。データによると、2025年にはAI家電の浸透率は35%に達し、スマートインターコネクト、自律学習などの機能が製品形態を再構築し、業界のスマート化への急速な発展を推進している。

### Haierの怠け者向け洗濯機、4月発売

Haierのスマート“怠け者洗濯機”が3月から予約販売が行われ、指導価格は4999円で、国からの補助金を利用すればわずか3999円で、4月から全面的に発売される。

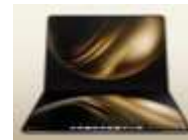
Haierの“怠け者洗濯機”は革新的な三槽設計（10.5 kgのメイン洗濯槽+1 kgのサブ洗濯槽×2）を採用し、三槽は同時に運転できる。メイン洗濯槽は大きいものを洗い、2つのサブ洗濯槽は下着や靴下を洗い、22分で分類洗濯を迅速に完了し、二次汚染を効果的に回避した。



現代の若い家庭は衣類の分類洗濯（ママと子供/下着/ペット用品）を求めているが、複数の洗濯機を購入しようとしていない。Haierの怠け者洗濯機は革新的な三槽設計で、分類洗濯のニーズをワンストップで解決し、場所を取らず、お金を節約し、消費者の要求を鋭敏に捉えている。

## HUAWEI初のHarmonyOSのPCを発表

5月19日、HUAWEIはnova 14シリーズとHarmonyOSのPCの新製品発表会で、MateBook Fold Ultimate-designとMateBook Proの2つのHarmonyOSのPC製品を発表した。その中で、HUAWEI MateBook Fold Ultimate-designは3つの突破によって注目の的となった：HUAWEI初の革新的な形態のPC、世界で最も軽くて薄いビジネス用折り畳み式PC、ビジネス分野で最大の折り畳み式スクリーン。



HarmonyOSのPCは5年間の研究開発期間を経て、累計1万人以上の研究開発者を投入し、関連特許2700件余りを申請したという。今回のHarmonyOSはPC機器に初めて適合し、HarmonyOSのコンピュータ分野への重要な突破を実現した。

## Laifenのシェーバーが発売され、パーソナルケア `三点セット` のラインナップが完成した

5月23日、Laifenは深センで2025年新製品発表会を行い、テーマは `革新的に生活を再構築する` で、発表会ではT 1 ProとP 3 Proの2種類の電気シェーバーの新製品を発売した。Laifen T 1 Pro（499元〜）とP 3 Pro（699元）の2種類の往復式シェーバーはいずれも自社開発のリニアモーターとPIDアルゴリズムを搭載し、知能的に動力を調節することができる。T 1 Proは一枚刃ヘッド設計で、P 3 Proは三枚刃ヘッドを搭載し、性能は1000元級の海外モデルに対応している



ドライヤー市場の下落と電動歯ブラシ業界のマイナス成長の影響を受けて、Laifenは35%の成長率（24年、目標40%）を維持したが、依然として新製品の展開によって今後2-3年の40%+成長目標を実現しなければならない。

## Flyco深剃り殺根技術を採用したF 8カミソリを発売

Flyco F 8カミソリは4月16日に発売された。この製品はステンレス刃の設計を採用し、高速周波数リニアモーターとAIひげ誘導技術を搭載し、ひげ剃りのスピード、洗浄効果と快適性の面で明らかに改善された。また、Flyco F 8はSkin care知能誘導システムを搭載し、220回/秒のリアルタイムモニタリングと適応アルゴリズムを通じて、ひげ密度に基づいて動力を自動的に調節することができ、剃った後の洗浄度を保証すると同時に肌への刺激を低減し、従来の剃った後の肌のつっぱりを効果的に解決した。



近年、Flycoは二重電気直駆、高速リニアモーター、AIひげ誘導などの技術を通じて革新を続け、製品F 8はスマート調節のボトルネックを突破した。その研究開発は高効率と快適体験のバランスに焦点を当て、磁気吸引設計とレッドドットデザイン賞レベルの工業設計を加えて、差別化を図っている。